

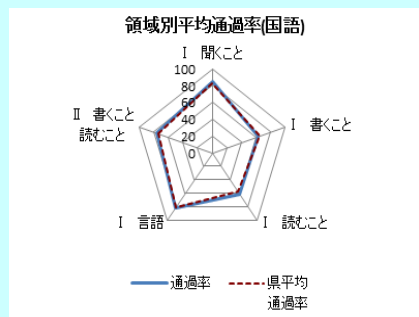
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 75.4 %, 県 71.9%)

対県比 104.8%

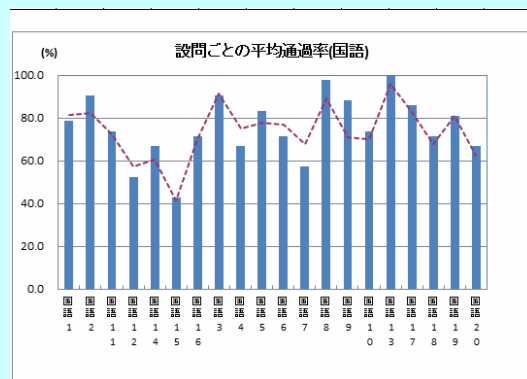
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 79.3 %  
全国 80.1 %  
県 79.4 %

B問題

本校 55.0 %  
全国 50.9 %  
県 51.0 %

・「基礎・基本」定着状況調査においては、通過率75.4%で県平均を上回ることができたが、「読むこと」の領域に課題がある。  
・全国学力・学習状況調査において、A問題通過率は79.3%で、県平均を下回ったが、B問題の通過率は55.0%で、県平均を上回った。A問題においては、「話すこと・聞くこと」の領域に課題がある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

108%

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

本文中の語句を用いて空欄を埋め、要旨をまとめる問題に課題がある。近い語句を書き抜くことはできても、その語句の意味や文脈前後の関係を考えて適切かどうか判断することまではできていない。(通過率本校 42.9%、県 39.7%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす問題に課題がある。(通過率本校 61.1%、県 75.8%) また、必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す問題にも課題がある。(通過率本校 77.8%、県 82.2%)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

説明的文章の学習の際にキーワードは何か考えながら要旨をとらえたり要約したりする活動を行う。また、書いた答えについて、もっと適切なものはないか班で交流しながら検討するなど、読み直し、見直しをする習慣も身につけさせる。

【課題2】全国学力・学習状況調査

話し合いの指導において、書記や司会などの役割を持たせ、メモを見ながら話し合いの方向を捉えて話し合いができるように指導する。また、スピーチ等の指導において、質問カードを用意し、質問の型を教えながら、足りない情報はないか確かめながら聞くことができるように指導する。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間テスト		2年期末テスト		1年生 H26 「基礎・基本」	1・2年学年末テスト
目標値		65%		68%		78%	70%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年中間テスト				2年生 H26 「全国学力」	
目標値		65%				A問題 80%	
実施後数値							